



西院会場
十一月八日・二十一日の歌声喫茶の様子です。



真理を求める人の少き

ことに嘆くことは、自分

だけなのか、

なぜ人の多くは、凡夫の言う事に耳をかたむけ

るのか、それを生きがい

のごとく諒解するのか、

人間がそれが例え哲学者

にしても、心理学者にし

ても、脳科学者にして

も、所詮人間の言つて

ることに過ぎない。

人間が言つていること

に、真実があるのか、人

は生まれてきた時から真

実を求める者であるはず

なのに、なぜそれを忘れてしまうのか、それは“色”（物）物欲の性な

のか。

最近益々乞食になりた

いとの欲望が湧いてきて

いることは、ただ単なる

この現実からの逃避な

か、それとも釈迦を慕つ

ての事なのか、良くわか

らない。

自分、自分が嫌になり、

物事にこだわりすぎる

借りて、さも自分の考え

自分を壊してしまいたい
欲望が湧いてくる。

今自分は高校時代よ

り退化しているのではな

いかとの恐怖心がいつも

いつも湧いてくる。

現実の世界では、こう

しなければと思つていて

もそれが日本では常識で

も他の国では非常識であ

ることが多い中、

常識とはなんぞや！そ

うゆう自分が“貴方は

常識がないね”と、抜け

抜けと言つてることに

吐き気がする。

“物”がなければ、こ

の肉体は維持されないの

だから働いてお金を得

る、それが人生の目的で

はないと知りながら、そ

れに追われて、生きがい

を忘れている自分に吐き

気がする。

他人に説教できるのは

神のみと分かつているの

に、偉そうに説教してい

る、それも先人の言葉を

借りて、さも自分の考え

たことのように説教する

自分に、吐き気がする。

何が眞実で、何が眞実

でないかいまだに分から

ない、それはアタリマエ

のことであると頭では分

かっていても、悟りを開

こうと考える自分に吐き

気がする。

誰も私を救つてくれな

い、自分が自分を救うの

だと、頭で分かつてい

も、人に救いを求める自

分を見ていると、吐き気

がする。

私は一体どうすればい

いのか、幾つまで生き様

を晒せばいいのか、自分

で自分の命を立つ事は、

本当に罪なことなのか、

誰が罪なことと決めたの

か、それに背けば一体ど

うなるのか、早く誰か教

えてください、そうすれ

ば今より楽になれるか

ら。

籠谷 弘

シルバー川柳選歌

保険証無いと思えば冷蔵庫

「ほらほらとあれ」で進行同級会

総入れ歯ささやく愛もエアー漏れ

そつくりねしおげる娘に悩む父

山盛りのあいもいつしかべったんこ

赤い糸たるみを直すフルムーン

なんでかな妻という字を毒と書く

デザートが薬に代わる老人会

八十路でも女であつた夜道は怖い

嫁が捨て姑拾つて減らぬゴミ



編集長より

今年一年も残り僅かとなりました。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

来年もまた、変わらぬ笑顔で楽しく歌声喫茶にご参加いただきますようお願い申し上げます。

どうぞ良いお年をお迎えください。

ともしひ通信

発行元：NPO 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地 4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL : kago@botuichi.com

●ともしひ通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。